

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会（資料配付）
2. 国土交通記者会（資料配布）
3. 国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）

日時：令和6年7月31日 14時同時配付



令和6年7月31日

国立研究開発法人土木研究所

「激甚な自然現象に対峙する～持続可能なメンテナンスに必要なこと～」

をテーマに

第17回CAESAR講演会を開催します

今年1月1日に発生した能登半島地震による道路橋被害の調査状況と地震に強い道路橋のための課題や対策及び道路橋の迅速かつ効果的な震後調査に向けた新技術の活用方法に関する講演や、近年頻発する洪水により復旧に長期間を有する事例も少なくない道路橋の洗掘被災の現状と課題、防止策に関する道路・河川の専門家による講演を予定しています。

また、基調講演として、京都大学 高橋良和 教授による「災害大国における道路づくりに求められること」を予定しています。

日 時：令和6年8月28日（水）13時00分～17時00分

場 所：一橋講堂（千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センタービル内）

※WEB配信によるリアルタイム視聴も可能です。

概 要：別添チラシをご覧ください

そ の 他：特設ホームページは

<https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2024/0828/index.html>

※CAESARとは、土木研究所 構造物メンテナンス研究センター”Center for Advanced Engineering Structural Assessment and Research”の頭文字による略称で、道路橋の安全管理のための構造技術に関わる総合研究機関として平成20年4月に設立。

※CAESAR講演会とは、道路構造物の維持管理や防災に関する技術動向について情報発信を行うこと、また技術者の交流の場を提供することを目的として、毎年開催しており今回で17回目です。

問い合わせ先

国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター

上席研究員 にし だ ひで あき
西 田 秀 明

電話番号 029-879-6773

第17回 CAESAR講演会

激甚な自然事象に対峙する～持続可能なメンテナンスに必要なこと～

講演会
参加費
無料

令和6年

8/28

水

13:00～17:00

ハイブリッド開催

会場 **一橋講堂** 定員 500名

千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センタービル2F

WEB リアルタイム配信 定員 1,000名



第17回CAESAR講演会
特設ホームページはこちら →

申込方法

本講演会の特設ホームページにて受け付けております。

CPD(土木学会)

本講演会は土木学会のCPDプログラム認定を受けています。会場もしくはリアルタイム配信で受講された方が対象です。

プログラム

13:00～13:05	開会挨拶	CAESAR センター長 久保 和幸
13:05～13:55	基調講演	災害大国における道路づくり求められること 京都大学大学院工学研究科 教授 高橋 良和
13:55～14:30	講演	能登半島地震の道路橋被害と今後の課題・対策 CAESAR 耐震研究監 片岡正次郎
14:30～15:05	講演	震後調査における新技術の活用 ～早期機能回復を目指して～ CAESAR 上席研究員 大住 道生
15:05～15:15	質疑応答	
15:15～15:30	〈休憩〉	
15:30～16:05	講演	洗掘による道路橋被災を未然に防ぐための研究の動向 CAESAR 上席研究員 西田 秀明
16:05～16:40	講演	構造物の被災を予防する ～河川の観点から見た現状と課題～ 土木研究所 河川総括研究監 服部 敦
16:40～16:50	質疑応答	
16:50～17:00	閉会挨拶	土木研究所 理事長 藤田 光一 (敬称略)

CAESARメンテナンス技術交流会 意見交換会

講演会終了後(17:15～18:15)に意見交換会の開催を予定しています。準備の都合上、予めご予約をお願いします。当日のキャンセルはやむを得ない事情がある場合を除き極力ご遠慮ください。

場所：講演会会場(一橋講堂) 同建物1F 特別会議室

参加費：1,000円(ドリンク・軽食代として)

定員：100名

申込方法：講演会の特設ホームページよりお申込みください

主催 国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター (CAESAR)

TEL: 029-879-6773 E-mail: caesar@pwri.go.jp